

# ToT: 目薬カバーの普及 一次モニタ期間を終えて



株式会社コネクトドット  
Tagged World事業部

2020年2月

## ToT: 目薬カバーの普及 一次モニタ期間を終えて

9月、試作した目薬カバーのモニター次募集をし、12月まで目薬カバーを使って頂きました。

本資料は、モニタの方々から頂いた意見や感想を報告し、更なる工夫をした目薬カバーを試作してみました。

二次モニタ募集に向けての準備状況を報告するものです。

2019年12月。

株式会社コネクトドット。

Tel: 0757463550

Mailto: tot@connectdot.jp

<http://www.connectdot.jp>

# 第一次モニタ 実験の結果 (装着感)

Copyright © 2019 Connectdot, Inc. All Rights Reserved.

## 01. 第一次モニタ実験の結果(装着感)

一次モニタ期間において、モニタ様より頂いた感想や意見をまとめ、改善方法を検討した。

一次モニタ期間では、次の項目を確認することとしたので、この2点についてまとめる。

1. 目薬カバーの装着感

2. 目薬の基本情報と処方した薬局の情報の登録方法

ここでは、1. の装着感についてまとめる。

## 目薬カバー一次試作



### リング式：

- コクヨ メクリンの内側に極小5mm角タグをシリコン用接着剤で貼り、
- その外側に直径5mm高さ2mmの凸点シールを貼り、目印とした。

### キャップ式：

- コクヨ メクリンキャップの先端（目薬容器の底部にあたる）内側に極小5mm角タグをシリコン用接着剤で貼る。

### 01.1 試作した目薬カバー

一次モニタ期間では、当初2種類の日薬カバーを試作し、モニタ様に使って頂いた。

#### 1. リング式。

コクヨ メクリンというシリコンゴム製のリング型指サックの内側に極小5mm角タグをシリコン専用接着剤で貼り、その外側に直径5mm高さ2mmの凸点シールを貼り、NFCタグ位置の目印とした。

#### 2. キャップ式。

コクヨ メクリンキャップというシリコンゴム製のキャップ型の先端（目薬容器の底部にあたる）内側に極小5mm角タグをシリコン専用接着剤で貼った。

## 一次試作品の課題（装着感）

- ▶ キャップ式は、装着しづらい
  - ▶ 薬局で装着することも考え、薬剤師にも相談したが、「装着しづらい」という意見であったので、**今後リング式のみを推進することとした。**
- ▶ タグの反応が悪い
  - ▶ 極小5mm角のタグは受信アンテナが短いため、反応距離が短くなる。
    - ▶ **メクリンの外側にタグを貼り付けることとした。**
  - ▶ 感度は、iPhoneから発する電波強度にも依存した。
    - ▶ iPhone7は電波が弱い。
    - ▶ iPhoneXは電波の発信間隔が長く、感度の高い位置を探しづらかった。
      - ▶ その後、iOS13.2以降にバージョンアップしたら解決した
- ▶ 凸点シールが剥がれてしまった
  - ▶ 初期バージョンでは、接着剤を多めに塗り凸点を作っていたが、分かり難いとの意見があり、**高さ2mmの凸点シール**を貼ってみた。
  - ▶ しかし、高さ2mmが引っ掛かりやすく、剥がれたことがあったので、**直径8mm高さ1.5mmの凸点シール**に代えて試作した。
- ▶ 直径8mm高さ1.5mmでも剥がれやすかった
  - ▶ 直径8mmのシールは、5mm角のICタグを覆うようにメクリンに接着できるが、メクリンの伸縮性を担保する穴にはみ出るため、その部分が剥がれやすくなってしまった。
  - ▶ 凸点シールを覆うように**ホッチキスの針を使ってメクリンに固定**してみた。

### 01.2 一次試作した2種類の目薬カバーの課題（装着感）

以下のご意見を頂き、試行を重ねた。

#### 1. キャップ式は、装着しづらい。

薬局で装着することも考え、薬剤師にも相談したが、「装着しづらい」という意見であったので、**今後リング式のみを推進することとした。**

#### 2. タグの反応が悪い。

極小5mm角のタグは受信アンテナが小さく、反応距離が短くなる。

メクリンの外側にタグを貼り付けることとした。

感度は、iPhoneから発する電波強度にも依存した。

iPhone7は電波が弱い。

iPhoneXは電波の発信間隔が長く、感度の高い位置を探しづらかった。

iPhoneXについては、その後、iOS13.2以降にバージョンアップしたら解決した。

#### 3. 凸点シールが剥がれてしまった。

初期バージョンでは、接着剤を多めに塗り凸点を作っていたが、分かり難いとの意見があり、**高さ2mmの凸点シール**を貼ってみた。

しかし、高さ2mmが引っ掛かりやすく、剥がれたことがあったので、**直径8mm高さ1.5mmの凸点シール**に代えて試作した。

#### 4. 直径8mm高さ1.5mmの凸点シールでも剥がれやすかった。

直径8mmのシールは、5mm角のICタグを覆うようにメクリンに接着できるが、メクリンの伸縮性を担保する穴からはみ出るため、その部分が剥がれやすくなってしまった。

凸点シールを覆うように**ホッチキスの針**を使ってメクリンに固定してみた。

## 目薬カバー二次試作品（1）



### リング式1：

- コクヨ メクリンの外側に極小5mm角タグをシリコン用接着剤で貼り、
- その外側に直径5mm高さ2mmの凸点シールを貼り、目印とした。

### 01.3 目薬カバーの二次試作(1)

初期リング式カバーを改良し、3種類の目薬カバーを試作した。  
二次モニタ期間には、この3種類の目薬カバーを試用して頂く予定。

#### 1. リング式1：

コクヨ メクリンの外側に極小5mm角タグをシリコン用接着剤で貼り、その外側に直径5mm高さ2mmの凸点シールを貼り、目印とした。

初期リング式カバーでは、極小5mm角タグはリングの内側に貼っていたが、iPhoneから遠くなり、読取りにくくなっていたため、リング式1では、リングの外側にタグを貼ることとした。

## 目薬カバー二次試作品（2）



### リング式2：

- コクヨ メクリンの外側に極小5mm角タグをシリコン用接着剤で貼り、
- その外側に直径8mm高さ1.5mmの凸点シールを貼り、目印とした。
- メクリンの伸縮用の穴にホッチキスの針で固定。内側から接着。

### 01.4 目薬カバーの二次試作(2)

#### リング式2：

コクヨ メクリンの外側に極小5mm角タグをシリコン用接着剤で貼り、その外側に直径8mm高さ1.5mmの凸点シールを貼り、目印とした。

本凸点シールは、メクリンの伸縮性を保持する穴にはみ出してしまうため、はみ出した部分から剥がれやすくなる。そこで、この穴にホッチキスの針で固定。針を内側から接着。

## 目薬カバー二次試作品



### リング式3：

- コクヨ メクリンの外側に極小5mm角タグをシリコン用接着剤で貼り、
- その外側にシリコン用接着剤を盛ることによって、目印とした。
- 盛った接着剤部分もメクリンと一緒に伸縮するため、接着部分の強度が増す。

### 01.5 目薬カバーの二次試作(3)

#### リング式3：

コクヨ メクリンの外側に極小5mm角タグをシリコン用接着剤で貼り、その外側にシリコン用接着剤を盛ることによって、目印とした。

盛った接着剤部分もメクリンと一緒に伸縮するため、接着部分の強度が増す。

# 第一次モニタ実験の 結果 (目薬情報の登録)

Copyright © 2019 Connectdot, Inc. All Rights Reserved.

## 02. 第一次モニタ実験の結果(目薬情報の登録)

一次モニタ実験では、目薬カバーにちよい録機能で目薬の名称を登録して頂き、「データ入力要請」機能によって、そのタグIDをメールで送信頂くことによって、弊社が、目薬の詳細情報をそのタグに登録する、といった手順を踏んだ。

詳細情報の登録は、都度弊社に依頼するのではなく、装着時ユーザが、もしくは処方時薬局で簡単に入力できることが重要である。

## 一次試作品の課題（詳細登録）

- ▶ NFCタグは単なる「目印」ではなく、いろいろな情報を確認するためのものと位置づけた。
  - ▶ 目薬基本情報と薬局等連絡先をタグに登録することとした。
  - ▶ 連絡先は、薬局等に電話やメールで問い合わせるための情報で、タグを「アクションタグ」的に使うことができる。
- ▶ 目薬基本情報、薬局等連絡先の入力
  - ▶ 一次モニタでは、既に目薬は処方済みで、自宅にて目薬カバーを装着する人が多かった。
  - ▶ 基本情報等も自宅で自身で登録する機会が多かったため、アプリに「データ入力要請」ボタンを追加して、基本情報を入力するタグIDを送ってもらい、遠隔から基本情報を登録することとした。
- ▶ 二次モニタ以降では、誰が情報を整備し、入力するかが課題。

### 02.1 一次試作品の課題(詳細登録)

1. NFCタグは単なる「目印」ではなく、いろいろな情報を確認するためのものと位置づけた。  
目薬基本情報と薬局等連絡先をタグに登録することとした。

連絡先は、薬局等に電話やメールで問い合わせるための情報で、即座に連絡できなければならない。

連絡先を登録しておく、「行単位に読み上げる画面」で、その行をダブルタップすると、電話をかけたり、メールを送信出来たりする機能を利用できる。

2. 目薬基本情報、薬局等連絡先の入力

一次モニタでは、既に目薬は処方済みで、自宅にて目薬カバーを装着する人が多かった。

基本情報等も自宅で自身で登録する機会が多かったため、アプリに「データ入力要請」ボタンを追加して、基本情報を入力するタグIDを送ってもらい、遠隔から基本情報を登録することとした。

3. 二次モニタ以降では、誰が情報を整備し、入力するかが課題。

自宅ではユーザ自身で、薬局では処方時に薬剤師が、簡単に入力できるよう、検討する。



## 02.2 理想的なデータ登録の流れ

目薬に関する情報は、

1. 製薬会社で作成されるパッケージの印刷文や添付文書
2. 眼科で処方される処方箋
3. 薬局で印刷される用法や薬局の連絡先

の3つから成る。

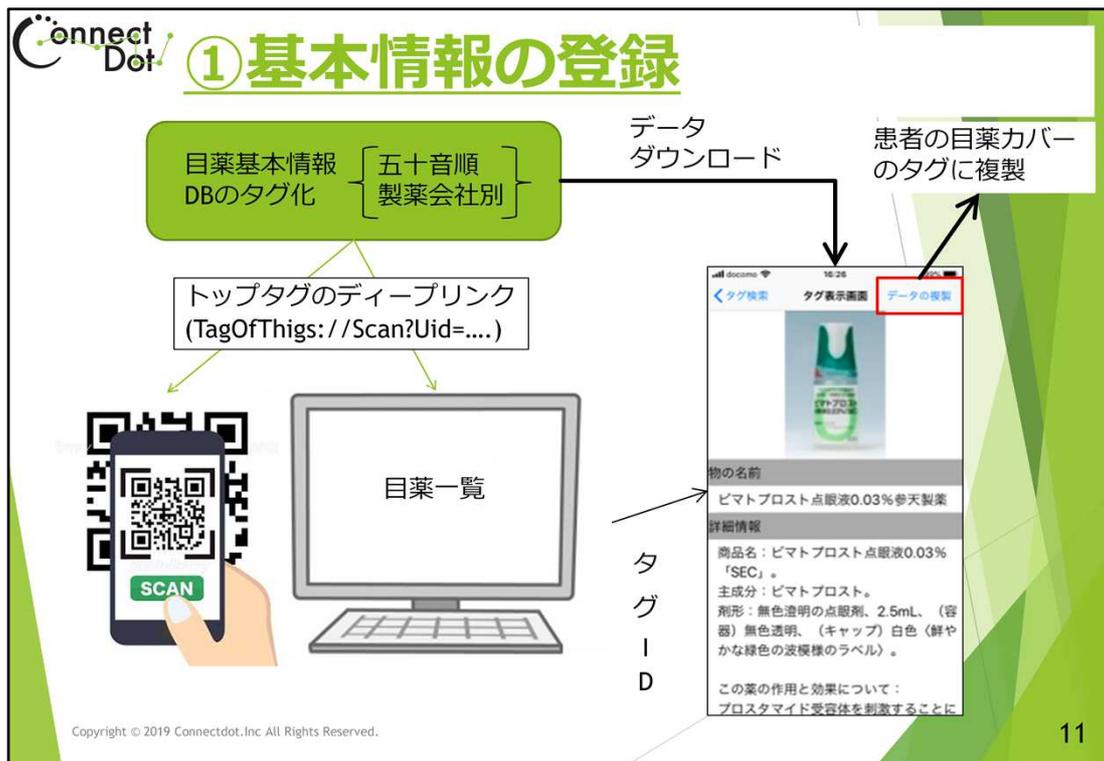
この情報の流れを考えると、1. は製薬会社から薬局へ、2. は眼科から薬局へ、3. は薬局自身で、即ち、全てが薬局に集中し患者に紙の形で伝えられている。

この流れを目薬カバーに適用すると、

- A) 1. のデータを各製薬会社から受け取り、あらかじめDB化しておく。
- B) 薬局で、1. のデータを検索し、目薬カバーに書き込む。
- C) 薬局で、2. 処方箋の情報と3. 連絡先を目薬カバーに追加で書き込む。

という手順を踏めばよい。

これは、音声コード、バーコード、QRコード等固定的な情報をコード化するものでは、できない手順である。



### 02.3 基本情報の登録

前のスライドのA), B) の手順をものタグで行う方法を説明する。

これは、一次モニタでは、弊社が遠隔で行っていた目薬基本情報の登録作業を、薬局や患者ご自身が簡単に行う方法となる。

まずは、次の手順で、目薬情報をタグ化しておきます。

1. 一つのものタグに一つ目の目薬情報を登録する。
2. これらのタグを、「五十音別」「製薬会社別」といった収納タグで階層化する。
3. さらに、「目薬基本情報」といった収納タグをトップとした階層構造を完成させる。

「データ入力要請」機能を使って、「目薬基本情報」タグのIDをディープリンクを作成し、このリンクを、QRコードかURLテキストとして、薬局に配布しておく。

薬局では、このディープリンクを呼び出して、「目薬基本情報」をトップとしたタグの階層構造内、目的の目薬基本情報をもものタグアプリで検索する。

検索された情報を「データの複製」機能を用いて、患者の目薬カバーに複製する。



## 02.4 動的情報の登録

処方、用法等、患者毎に異なる情報を目薬カバーに登録する方法を説明する。但し、この方法は、現バージョンのものタグアプリでできる手順を示しており、セキュリティ上課題が残る。

最終的な手順は、「追加機能開発」スライドで説明する。二次モニタ募集時か(来年度になると思われるが)実証実験の時には実装したい。

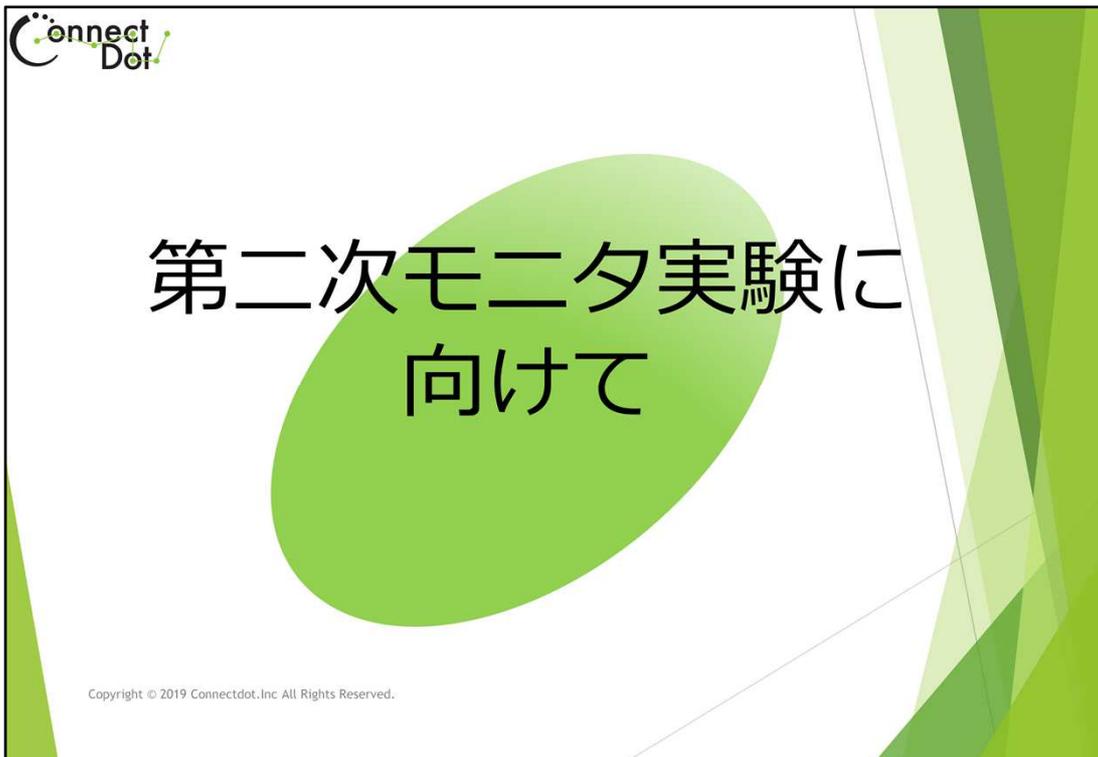
動的な情報は、薬が処方される時、即ち薬局等で書き込まれるが、以下の情報がある。  
 患者名と薬の用法、  
 薬の有効期限、  
 薬局等連絡先、

「患者名と薬の用法」は、基本情報とは別に登録できる「ちよい録」機能を使って音声で登録する。

「薬の有効期限」は、薬の容器に印字される「使用期限」ではなく、開封後の期限が重要である。そこで、目薬カバーが登録された日時を使うこととする。

ものタグでは、「登録日時」「更新日時」が自動的に記録されるが、これが相当する。但し、現状のものタグアプリでは、この日時は表示されないが。

「薬局等連絡先」は、現状は、詳細情報の最初に手動で書き込むことになる。



### 03. 第二次モニタ実験に向けて

一次モニタにて、課題が明らかになり、解決方法も見えてきたので、課題解決後、二次モニタを募集しようと思っている。

## 二次モニタ募集

- ▶ 4月から募集予定
- ▶ 課題の確認
  - ▶ リング式1、リング式2、リング式3の試作品の使用感
    - ▶ 装着性
    - ▶ 耐久性
    - ▶ データ登録更新の容易性
  - ▶ 病院、薬局、製薬会社の連携性
    - ▶ 病院：処方と推薦
    - ▶ 薬局：目薬カバーへのデータ登録
    - ▶ 製薬会社：目薬基本情報の提供

### 03.1 二次モニタ募集

一次モニタ期間で明らかになった課題を解決する期間を経て、4月頃から二次モニタ募集を開始する予定である。

二次モニタでは、次の2項目を確認することになる。

1. リング式1、リング式2、リング式3の試作品の使用感。  
装着性、耐久性、データ登録更新の容易性を確認する。
2. 病院、薬局、製薬会社の連携性。  
データ登録における最適な役割分担を探る。  
病院：処方と推薦、  
薬局：目薬カバーへのデータ登録、  
製薬会社：目薬基本情報の提供。

## 追加機能開発

- ▶ 患者の端末からFCSコードを受け取る
  - ▶ 患者の目薬カバーへの書込み許可
- ▶ 目薬カバー用データ編集
  - ▶ 目薬名に、患者名を追加。「～様用～点眼薬」
  - ▶ 基本情報に連絡先を追加。
  - ▶ 連絡先はデータ登録者の端末のFCSコードをキーとしてCAPサーバから取得
  - ▶ 患者名（患者FCSコードをキーとしてCAPサーバから取得）
- ▶ データ登録
  - ▶ 登録者（薬局等）端末から、患者所有（プライベートレベル「私的」）タグに書き込み
  - ▶ 実際には、サーバへの書込み権限を得て、データ登録。

### 03.2 追加機能開発

二次モニタ期間中になると思うが、「病院、薬局、製薬会社の連携性」において役割分担が見えてきたら、下記の新規開発が必要になると思われる。

1. 患者の端末からFCSコードを受け取る。  
FCSコードを受け取ることによって、患者の目薬カバーへの書込許可を得ることになる。
2. 目薬カバー用データ編集。  
基本情報は、製薬会社から提供された薬の情報をDB化しておくが、それ以外、患者毎に追加する情報をタグに書き込む仕組みを開発する。例えば、
  - A) 目薬名に、患者名を追加。「～様用～点眼薬」。
  - B) 基本情報に連絡先を追加。
  - C) 連絡先はデータ登録者の端末のFCSコードをキーとしてCAPサーバから取得。
  - D) 患者名は、患者FCSコードをキーとしてCAPサーバから取得。
3. データ登録機能。  
現バージョンでは、タグの所有者（この場合、患者）しかタグに新たな情報を書き込めないで、薬剤師が患者のタグに書き込める機能が必要となる。
  - A) 登録者（薬局等）端末から、患者所有（プライベートレベル「私的」）タグに書き込む。
  - B) 実際には、サーバへの書込み権限を得て、データ登録。

- ▶ 技術的な課題とその解決の方向性は見えてきた。
- ▶ ペインはあるか？
  - ▶ 「薬や用法を間違えない」ためにタグが必要なのか？
  - ▶ それだけなら、何か凸点シールなど目印をつけるだけで十分。
  - ▶ 患者はペイン「対価を支払ってでも解決したいこと」を感じていないのでは？
- ▶ 「薬や用法を間違えない」は誰のペイン？
  - ▶ 医者、薬局、製薬会社、患者全員のペインではないか？
  - ▶ 医者、薬局、製薬会社の社会的義務。
  - ▶ この「薬や用法を間違えない」活動に患者も巻き込むと、この義務を果たせるのでは？
  - ▶ 「巻き込む」とは、薬の基礎的な情報を患者に伝え、「薬や用法を間違えない」よう注意してもらうこと。
- ▶ 薬容器に基本情報を印刷する、処方箋を発行する、患者に伝えるという活動の延長線上に目薬カバーを位置づけられるかがポイント。
- ▶ 二次モニタ募集に向けて、明らかにしていきたい。

#### 04. まとめ

技術的な課題とその解決の方向性は見えてきたが、本当に目薬カバーは必要なのだろうか？

「薬や用法を間違えない」ためだけなら、何か凸点シールなど目印をつけるだけで十分ではないか。

患者は「対価を支払ってでも解決したいこと」と感じていないのでは？

(「対価を支払ってでも解決したいこと」をペインと言う)

「薬や用法を間違えない」ことは、患者だけが感じるペインだろうか？

医者、薬局、製薬会社、患者全員のペインではないか？

「薬や用法を間違えない」は、医者、薬局、製薬会社の社会的義務。

薬の基礎的な情報を患者に伝え、「薬や用法を間違えない」よう注意してもらうと、この活動に患者を巻き込み、義務を果たすことができる。

製薬会社が薬容器に基本情報を印刷する、眼科医が処方箋を発行する、薬局で患者に伝えるという活動の延長線上に目薬カバーを位置づけられるかがポイント。

二次モニタ募集に向けて、明らかにしていきたい。

## 目薬以外の薬(軟膏)への適用

- ▶ 3サイズのマクリンに目印（接着剤を盛る、1.5mm高凸点シール、2mm高凸点シール）を付ける
- ▶ 3サイズ用意することによって、内径11~15mmまでのチューブに対応できる。

### マクリン サイズ

サイズ	寸法（内径・長さ）
S	11・11mm
M	13・11mm
L	15・12.5mm



### 05. 目薬以外の薬(軟膏)への適用

ココヨ マクリンの伸縮性を目薬カバーとして活用したが、マクリンには、3種類のサイズがある。

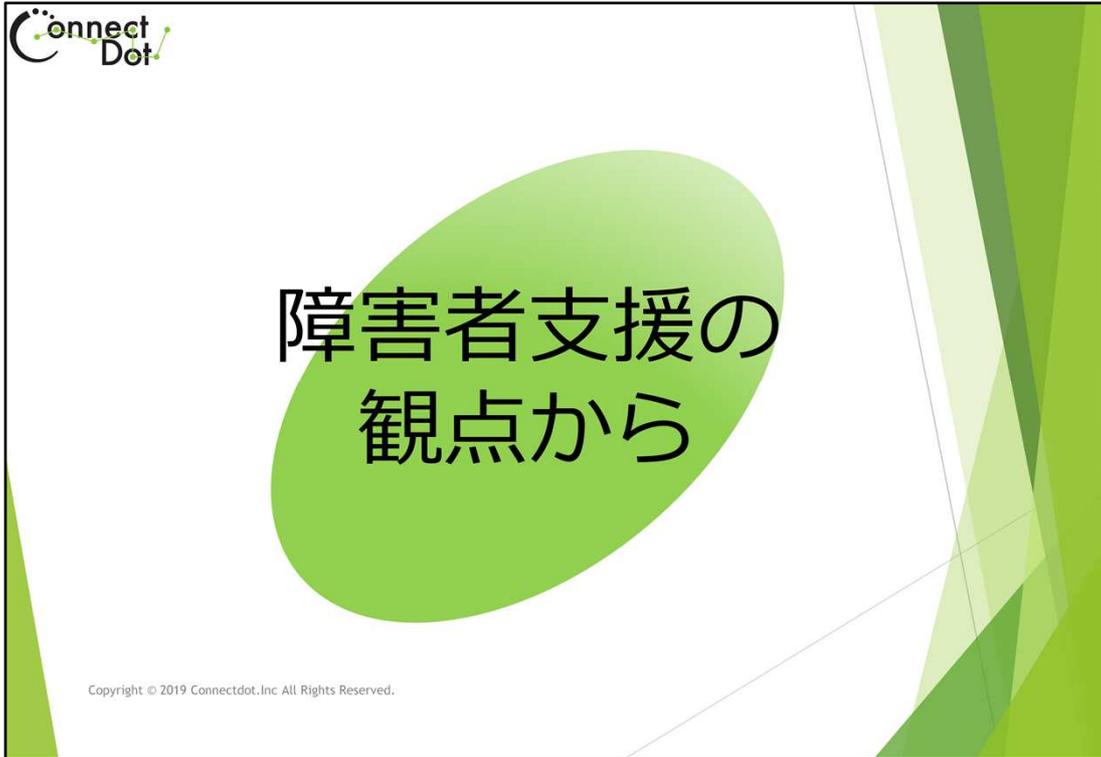
サイズS: 内径11mm、長さ11mm。

サイズM: 内径13mm、長さ11mm。

サイズL: 内径15mm、長さ12.5mm。

目薬カバーは、サイズLのマクリンに、接着剤を盛る、1.5mm高の凸点シール、2mm高の凸点シールといった目印を付けたが、サイズS、サイズMのマクリンも同様に加工すれば、異なるサイズの円柱形容器に対応できる。

例えば、軟膏薬の識別に使えるのではないかな？



## 06. 障害者支援の観点から

目薬カバーを障害者支援施策の観点から外観し、ステークホルダーは誰か、各々の役割は何か、検討する。

Connect Dot **障害者総合支援法** (平成25年4月1日施行)

- ▶ 「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」
- ▶ 基本理念
  - ▶ 法に基づく日常生活・社会生活の支援が、共生社会を実現するため、社会参加の機会の確保及び地域社会における共生、**社会的障壁**の除去に資するよう、総合的かつ計画的に行われることを法律の基本理念として新たに掲げる。

コンテンツ

 写真  
 イラスト  
 映像  

説明文

伝わらない

**社会的障壁**



Copyright © 2019 Connectdot, Inc All Rights Reserved. 19

## 06.1 障害者総合支援法

障害者総合支援法とは、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」(平成25年4月1日施行)のことである。

その基本理念は、以下の通りである。

法に基づく日常生活・社会生活の支援が、共生社会を実現するため、社会参加の機会の確保及び地域社会における共生、**社会的障壁**の除去に資するよう、総合的かつ計画的に行われることを法律の基本理念として新たに掲げる。

社会のなかで自由に生きる条件が整ってないことが「障害」であり、社会のほうに問題があるという考え方から、「社会障壁」を除去するが障害者支援としている。

視覚障害者の「社会的障壁」は、視覚に頼らない情報の不足ではないかと思われる。社会は、写真、イラスト、画像、映像を効果的に使った情報の伝達方法を良しとしている風潮があるが、それは視覚障害者には伝わらない。

Connect Dot **目薬の場合の社会的障壁**

**社会的障壁**  
容器形状区別つきにくい  
字が小さい

**製薬会社から**  
目薬の基本情報  
(効能、副作用、保存方法等) ①

**眼科、薬局から**  
患者個別の処方、  
用法 ②

目薬にICタグ

患者へ

**薬事法**  
薬局開設者、医薬品の販売業者又は医療機器の販売業者、賃貸業者若しくは修理業者は、医薬品又は医療機器を一般に購入し、又は使用する者に対し、医薬品又は医療機器の**適正な使用のために必要な情報を提供するよう努めなければならない。**

Copyright © 2019 Connectdot, Inc All Rights Reserved. 20

## 06.2 目薬の場合の社会的障壁

視覚障害者にとって、薬品(特に目薬)の区別、用法の理解、服薬(点眼)管理は苦労するところです。

容器形状の区別がつきにくい、ラベルの字が小さい、といったことが「社会的障壁」ではないかと思います。

ICタグ付き目薬カバーは、薬の情報を音声で伝えることができるため、この「社会的障壁」を取り除く一手法となり得る。

一方、薬事法では、

薬局開設者、医薬品の販売業者又は医療機器の販売業者、賃貸業者若しくは修理業者は、医薬品又は医療機器を一般に購入し、又は使用する者に対し、医薬品又は医療機器の**適正な使用のために必要な情報を提供するよう努めなければならない。**とされています。

薬に関わる全ての人々が、「適正な使用のために必要な情報を提供する」よう努めるとしています。

目薬カバーによる情報提供は、薬に関わる人々の努力に支えられ、基本情報は製薬会社から、患者個別の処方、用法は、眼科医及び薬局から提供されるべきものです。

Connect Dot **薬機法 (2014年11月25日に施行)**

- ▶ 「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」
- ▶ 医薬品・医療機器の品質、有効性、安全性の確保にかかる責務を都道府県や製造販売業者、医療関係者に**課した**。

**現場の感覚**  
患者は薬名や効果に興味がない  
用法だけ伝えれば十分  
手間がかかる

**患者の感覚**  
詳細は知らされない  
知らされても覚えられない  
目薬は区別できれば十分

悪循環を崩さない  
責務を果たせない

Copyright © 2019 Connectdot, Inc All Rights Reserved. 21

### 06.3 医療現場及び患者の感覚

薬機法「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」(2014年11月25日に施行)にも同様のことが次のように定められており、行政にもその責任を課している。

「医薬品・医療機器の品質、有効性、安全性の確保にかかる責務を都道府県や製造販売業者、医療関係者に**課した**。」

しかしながら、医療現場では、  
 患者は薬名や効果に興味がない、  
 用法だけ伝えれば十分、  
 詳細を伝えるのは手間がかかる、  
 といった意見があり、患者からも  
 詳細は知らされない、  
 知らされても覚えられない、  
 目薬は区別できれば十分、  
 といった声も多く聞かれた。

この「用法のみで十分」「知らされないので、知らなくてもいい」といった悪循環を崩す施策を実施しないと、「医薬品・医療機器の品質、有効性、安全性の確保にかかる責務」を果たすことができない。



## 目薬カバー普及の動機付け

- ▶ 医者
  - ▶ ロービジョンケア
  - ▶ 治療だけでなく、生活全般をケア - 長い付き合い
- ▶ 製薬会社
  - ▶ 患者への適切な情報提供
  - ▶ 単一容器形状化が進む中、それらを区別する方法の提供
- ▶ 薬局
  - ▶ かかりつけ薬局
  - ▶ 患者の生活全般の薬に関するケア



### 患者との信頼関係の確立

行政が支える

Copyright © 2019 Connectdot, Inc All Rights Reserved.

22

#### 06.4 目薬カバーの動機付け

目薬カバーの普及は、薬に関わる全ての人々の役割を果たすために寄与できる。医療は、病気の治療だけでなく、障害を抱えてしまった患者の今後の日常生活のケアも考えるべき時代となっている。

即ち、患者とは長い付き合いとなり、医療関係者は患者との信頼関係を確立すべく奮闘している。

例えば、眼科医療ではロービジョンケア（視覚障害によって日常/社会生活に不自由に感じている方が、保持されている視機能を最大限に活用し、できるだけ快適な生活を送れるようサポートする眼科医療や福祉のこと）が重要視されているが、患者との信頼関係の上で成り立つケアである。

製薬会社は、コスト競争の中で、点眼容器の形状を統一化しているが、患者との信頼関係のキープに苦慮している。

薬局は、「かかりつけ薬局」制度を進めている。患者との長い付き合いの中で安心して相談できる薬局になろうとしている。

目薬カバーは、薬の情報を音声で伝えることができ、何度でも必要な箇所を聞き直すことができる。

医療関係者から患者へのメッセージ伝達基盤となり、患者との信頼関係確立のツールとなり得る。